

岩手県漁業指導調査船「北上丸」竣工式の開催について

水産技術センターの漁業指導調査船「北上丸」について、船体の老朽化に伴い昨年度に代船建造していたところ、本年3月末に竣工し、5月29日（木）に、水産技術センターにおいて竣工式を開催します。

また、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた同センターの研究施設についても、23年度から復旧工事を進めてきた結果、本年3月末に竣工したところであり、併せて復旧した研究施設を披露します。

記

1 日時・場所

平成26年5月29日（木）13:30～15:00 岩手県水産技術センター（釜石市平田3-75-3）

2 行事

(1) 受付	13:00～13:30	エントランスホール
(2) 竣工式典	13:30～13:55	大会議室
(3) テープカット	14:00～14:10	センター前岸壁（雨天時はエントランスホール）
(4) 北上丸及び 施設見学会	14:10～15:00	北上丸 船内、調査観測機器、航海装置 水産加工実験棟 通電加熱装置 研究管理棟 プランクトン培養状況 種苗開発棟 ワカメ養殖省力化装置 屋外実験水槽 アワビ種苗飼育状況

3 出席者（予定）

県（知事等）、国（復興庁岩手復興局長等）、県議会議員、沿岸市町村長
水産団体（県漁連会長、沿海漁協組合長等）、研究機関、造船業者 約70名

<参考>

1 漁業指導調査船の役割

漁業指導調査船は、水産資源調査や海洋観測業務に従事する。

岩手県水産技術センターでは、沿岸域を担当する「北上丸」と、沖合域を担当する「岩手丸」（154トン）の2隻を有している。

2 「北上丸」の仕様・搭載機器等

- 仕様 強化プラスチック（FRP）製 38トン 長20.50m×幅5.28m×深2.52m
最大航海速力13.4ノット 最大搭載人員12名（船員7名、研究者等5名）
- 漁労機器 いか釣り機、底延縄、底刺し網、かご、船曳網、火光利用敷網
- 調査観測機器 メモリ式STD（塩分水温深度計）、表層トロールネット、プランクトンネット
稚魚ネット
- 科学調査計器 魚群探知機、計量魚群探知機、セクターソナー（全周囲の魚群探知機）
超音波式潮流計、航走式水温計
- 造船所・工期 株ニシエフ（山口県下関市） 25年4月17日～26年3月31日
- その他 先代の第6代「北上丸」は7年3月～26年3月まで運行（19年間）



今回建造した「北上丸」